

●西三河工業用水道

衣浦臨海工業地帯並びにその背後地の工場に工業用水を供給するため、矢作ダムに水源を求め、日量300千 m^3 規模の事業で、昭和45年度から浄水場や管理設工事に着手しました。

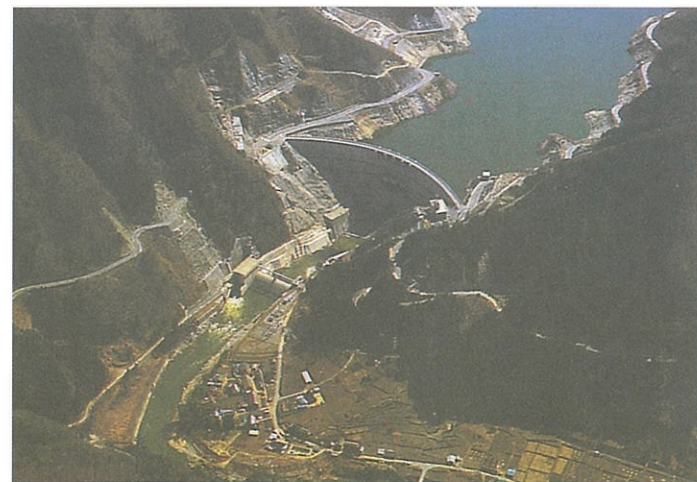
その後、豊田市を中心とする西三河内陸部において、輸送機工業等の急速な発展に伴い工業用水の需要が増加したため、給水区域を拡大し、日量300千 m^3 のうち100千 m^3 をこの地域にも給水するよう計画を変更して昭和49年度から工事に着手しました。

昭和50年5月安城浄水場から衣浦臨海部に給水を開始し、次いで昭和52年5月から西三河内陸部に給水を開始しております。

さらに、岡崎市を始めとする矢作川左岸地域にも給水するよう給水区域を拡大し、給水を開始しました。今後も水需要の動向をみながら施設の整備を図ります。



安城浄水場（平成30年8月撮影）



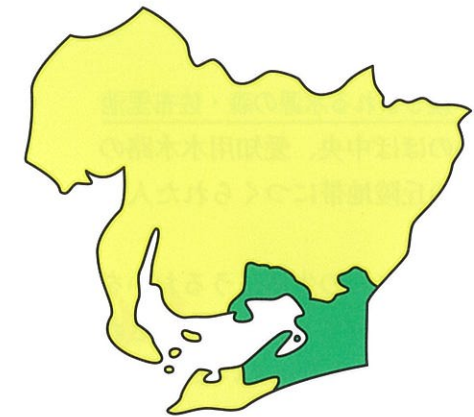
矢作ダム（平成12年11月撮影）

名称	所在地・電話番号	現在給水能力	完成時給水能力	給水区域(給水先事業所数)
西三河水道事務所	〒446-0052 安城市福釜町道田44 TEL (0566) 75-3133	m ³ /日	m ³ /日	岡崎市のうち矢作川以東で一般国道1号以南及び矢作川以西の区域、半田市、碧南市、刈谷市、豊田市のうちH17.3.31における豊田市の区域、安城市、西尾市のうちH23.3.31における西尾市及び旧吉良町の区域、高浜市、みよし市、東浦町、武豊町、幸田町
		300,000	300,000	
				131事業所（令和2年4月1日現在）

●東三河工業用水道

東三河地域は、昭和39年に工業整備特別地域の指定を受け、新しい工業地帯として生まれかわりつつあります。重要港湾である三河港においては、東三河臨海工業地帯として工業用地の造成が進められており、内陸部とともに将来の発展が期待されています。

このような状況から水不足に悩むこの地域に、豊川用水事業の宇連ダムを水源として、工業用水を供給するため、昭和43年度～44年度の第1期事業により日量27千 m^3 の給水施設を完成し、昭和45年度から蒲郡地区



に対し給水を開始しました。昭和46年度から蒲郡及び大崎・田原地区を対象に日量128千 m^3 の規模(蒲郡地区17千 m^3 、大崎・田原地区111千 m^3)で第2期事業に着手し、蒲郡地区は昭和50年4月から給水を開始しました。また大崎地区は、昭和53年7月に、田原地区は昭和54年6月にそれぞれ一部給水を開始しており、さらに、御津町にも給水区域を拡大し、平成11年4月に一部給水を開始しています。

今後も水需要の動向を見ながら施設の整備を図ります。



蒲郡浄水場(工水)（令和元年8月撮影）



豊橋南部浄水場（平成30年8月撮影）

名称	所在地・電話番号	現在給水能力	完成時給水能力	給水区域(給水先事業所数)
東三河水道事務所	〒443-0002 蒲郡市清田町五反田52-1 (連絡先) 豊川浄水場 TEL (0533) 87-3868	m ³ /日	m ³ /日	豊橋市、豊川市のうち旧御津町の区域、蒲郡市、田原市のうち旧田原町の区域
		44,000	44,000	
	〒441-3301 豊橋市老津町字南山田1 TEL (0532) 23-2200	74,000	111,000	
計	—	118,000	155,000	56事業所（令和2年4月1日現在）